教育目標	育目標 「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。							
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にする豊かな情操」を培う。また、日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。							
本年度重	I学	習指導の充実    Ⅱ 進路指導の充実	Ⅲ心豊かでさわやかな生徒の育成				学校関係者評価	
点目標		広報・渉外活動の充実 V 教育施設・設備の流		評		評		
重点目標	項	平成 30 年度具体的な方策または評価項目を	平成 29 年度実施結果(成果は○、改善すべき事	価	教員からのコメント(評価理由・意見感想・改善点)(68 名)	価	学校関係者評価委員からのコメント(8名)	
		評価する具体的な指標 【 】は数値的目標	項は◇)※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	Imi	DOCK DO DO TO THE METERS AND THE PROPERTY OF T	Imi	1 20000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
T	授	<ul><li>① 生徒の学習意欲が高まるような</li></ul>		Α	- ・アクティブラーニングや新しい入試の傾向を十分に意識した授業、定期テストを実施した	A	・研究授業が実施されるようになったが、今後も5教科では必	
学習指		分かる授業を実践するとともに授業改善に	ば満足)の比率 95.0 % ]	14.7	・研究授業等は実施されている	12.5	ず実施していただきたい	
導の充	業 改善	努め、授業アンケートの結果向上を図る	○【生徒の授業満足度調査、授業に対する教	%	・普通科総合クラスの授業のやり方について話し合う機会があり、有意義であった。また、会議がなくて	%	・やはり日頃の授業が一番大切であると思うので、さらに充実	
実	善へ	【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば	員自己考査とも年4回実施した。】	70	も日頃からお互いの工夫などを交換し合う雰囲気があった	70	させていただきたい	
	の	満足の比率)95%】	◇授業満足度調査の満足度は目標値に達し	В	・教科会をうまく使って指導方針を確認することができた	В	・中学の早い段階から大学受験に向けた指導がなされている	
	取	【授業満足度(生徒)と自己考査(教員)を年 4	ているが、結果を活かしての授業改善にま	58.8	・教科を越えて研究授業をみさせていただき、とても参考になった	75.0	と思う	
	組	回実施】	だ不十分な点が見られる。	%	・教員各自が授業をチェックしたり、他のクラスの状況を確認していて風通しがよくなっている	%	<ul><li>・問題解決のため、様々なアプローチをされていると思う。引</li></ul>	
	み	②普通科と英数科、各クラス間、各教員間の	◇すべての教科で授業技能に関するノウハ		・授業内容を理解させるための指導方法を普通科・英数科ともに考えていることはよいと思う	. •	き続きお願いしたい	
		指導の格差を改善し、指導の共通化を図る	ウの共有化を進める必要がある。	C	・毎週の教科会議時間の確保は継続したい	С	・授業アンケートでの PDCA を確実に回すべき。授業アンケ	
			②◇「理解させるための根気強い指導」や英数	25.0	・教科会議で意見交換をするのが常態になり、フットワークが軽くなったと思う	12.5	ートの結果が返ってこないとのコメント多数。結果報告の実	
		着度の検証及び教科指導の改善を行う	科と普通科の指導格差、クラス間や教員	%	  ・普通科と英数科での学習意欲の温度差を縮められるように方策を考えるべきである	%	施は行うべきと考える	
		<ul><li>④各教科、中堅以上の教員がテーマを設定し</li></ul>	間の指導の格差がまだまだ大きいため、		│ │・授業アンケートに関して満足できない部分を具体的に書く欄が必要だと思う。生徒のアンケートの取り		・授業アンケートのフィードバックなど、早急に実施していた	
		た研究授業を行う	方策を講じて改善を進めたい。	D	組みを見ていると本当に妥当性があるのか疑問であるし、教員側も改善するところを見つけにくい	D	だきたい	
			③◇教科会議を毎週行える状況(時間割)があ	1.5	・「普通科だから」「総文だから」という声を聞くことが多いと思う。それによって格差がさらに広がって	0	・クラス間の格差が改善されていないように思う。生徒だけで	
			り、教科会議の回数は確保できているが、	%	いくように感じる	%	なく、教員の意識も変えてほしい	
			全学年の状況を把握して3年間見通しての		・教科で統一した目標が設定されていない		・英数科・普通科の格差をなくすことに努力願いたい。推薦の	
			指導計画を共有するところまで至ってい		・授業アンケートの結果が返ってこない。その都度、フィードバックされていない		場合、普通科の生徒が成績の割にアドバンテージを感じ、英	
			るとはまだ言い難い。		・授業アンケートがやるだけになっていて、そのフィードバックが行われていない		数科の生徒が不公平感を持っては困ると思う。親にとって	
			④◇ノウハウの共有化という目標がまだ浸透		・生徒の授業アンケートはやりっ放しになっているので、やって意味があるのか分からない		は、まず自分の子供をより高い大学に入れたいと第一に考え	
			しておらず、研究授業自体が実施されてい		・普通科と英数科とで生徒の意識の差がある		るから	
			ない教科がある。		・普通科の生徒の授業姿勢が、学年が進むにつれて悪化している		・高校1年の頃より、なぜ学習をするのか、誰のための学習な	
					・普通科・英数科の格差はなかなか改善できなかった。英数科担当教員も普通科授業を担当すべきである		のかを生徒に考えさせる機会を与えることは重要だと思う	
					・英数科と普通科に断層があり、相互協力しているとは思えない		・普通科・英数科ではカリキュラムも受験対策も異なる。それ	
					・クラス間の格差は教員同士のコミュニケーションでなくしていく		ぞれの科・コースにおいて課題を一つひとつ解決していくこ	
					・授業アンケートの結果が分からなく、改善につなげる以前の問題。アンケートの満足度を上げるために		とが大切だと思う	
					生徒に甘くしてしまう傾向もあり、まったく逆効果。見直す機会だと思う			
					・教科間の打合せがもっと必要である			
					・教科会議は開催されていない			
					・クラス間の格差は縮まっていない			
					・研究授業等は行われているが、若手教員の巻き込みの意識が薄いと感じる			
					・総合型選抜、学校推薦型選抜において学力不問の入試がなくなる以上、普通科の学力伸長のための授業			
					改革は必須となる			
					・教員個々が意識して努力しているが、ノウハウの共有化には課題が残る			
					・多忙な教員が多く、また非常勤の教員も多く、教科間やクラス間での授業改善に対する話し合いが不十 			
					分である 一 短巻港日本の港口比索(1945年の1972)について、港口ではない関連の見けがなみ着がなされていない。			
					・授業満足度の満足比率(昨年度 95%)について、満足ではない理由の具体的な改善がなされていない ・「格差」改善のためにどのような行動をするのか、明確でない			
					・・「俗差」 改善のためにとのような行動をするのが、明確でない ・クラス間、教員間の指導格差の是正、ノウハウの共有化、3 年間の指導計画など、取り組まなければなら			
					・グラス间、教員间の指導格差の定正、アラハウの共有化、3 年间の指導計画など、取り組まなければならないことが多い。全体的に考えて、10 年・20 年先が非常に心配だ			
					・授業満足度調査、授業技能考課、教科会議・研究授業は行われているが、授業改善に役立っているとは			
					・技業例に及制性、技業技能方称、教育会議・研究技業は117月にいるが、技業以書に技立づているとは 言い難い			
	1			<u> </u>				

学	①放課後プロジェクトや「9 時まで学習」の
カ	一層の活性化を図る
の	【9時まで学習参加率 60%】
定	②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹
着	底を図る
۲	【復習テスト年5回実施】
向	③英語検定指導等を継続して組織的に行う
上	【英検2級220名以上、準1級20名以上】
に	④学力の基礎である国語力(文章読解や表現
向	力)の向上のための取り組みを行う
け	【論理エンジンの有効活用・指導】
た	⑤国際教養教育を推進する
き	⑥普通科生徒の学力・学習意識向上のための
め	指導を策定する
細	⑦大学入試共通テストに向けて論述問題や英
か	語4技能に対応した問題を定期テストに導入
な	する
指	
導	

- で学習」の ①◇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった(ここ数年やや低調)。
  - ○職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。
  - ○「9 時まで学習」の参加率は、昨年度の 54% に対し 63%と増加し、積極的な参加が見ら れた。
- 読解や表現 ②○各教科・各学年において、きめ細かな指導が実践された。各教科では、同学年の各科・各コースの担当者間での連携が取れていた。今後『明誠ダイアリー』を利用しながら学習習慣の確立のさらなる強化を図りたい。
  - ◇主要教科において、各学年を縦断しての指導方針がまだ確立されていない。
  - ③○【英検2級既取得者数223名、準1級既取得者数16名】英検準1級既取得者数は目標値に達しなかったが、本校過去最高記録となった。また GTEC も実施しており、これらの取り組みにより英語の学力が向上した。
  - ④○論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。
  - ⑤○ドリーム・ゲイトウェイ・プログラムや国外からの教育 訪問団との交流により、グローハカルな視点を持った発信力が涵養された。
  - ⑥○H30 年度より実験的に土曜日を利用した 教科横断型の授業を 3 年総合コースで実施す ることとなったが、引き続きこの検証を行って指導法を工夫する必要がある。
  - ⑦◇国語科において論理的構成を必要とする 論述を定期テストで出題するようにした が、まだ完全実施には至っていない。

・英検1級取得者が出て、他の生徒に刺激となった

- ・国語の論理エンジンで取り組んだことは新しい共通テストにも生かされて行くと思う。ただし、テキストの内容・扱う題材が古い。IT やグローバルの話が全くない。刊行以来改訂されていないためである
- ・英検の級取得率が上がりよかったが、この自信をもっと受験で生かせるようにしていきたい
- B ・自分の範囲内では十分見ているつもりである
- 50.0 ・「9時まで学習」の参加率の向上や英検合格者から考えて、よく取り組めていると思う
  - ・英語科のきめ細やかな指導により、クラスの中で英検取得者が目に見えて増えてきた
  - ・定期テスト (1年:現代文) において設問、採点基準ともに共通テスト試行問題を再現した記述問題を導入し、取り組んでいる
- - ・英検指導による英語力の向上が図られている
  - ・英検の級取得に対する意欲を高めるために学校全体で取り組んでいていいと思う
  - ・国・数・英の既習内容の定着が確実にできている
  - 分からないところを質問に来て、分かろうとする生徒も増えている。
  - ・英検の指導は継続的になされているし、論理エンジンも有効活用されていると思う
  - ・大学入試共通テストを想定した問題を定期テストに含ませていることはよいと思う
  - ・個別指導の増加が放課後プロジェクトという型にはまった補講の参加率減少に繋がっていると思う。放 課後プロジェクトは有意義である。今後再アピールして、個別指導と並行して継続してもらいたい
  - ・3 年普通科総合コースでの土曜日授業の実施とその検証は意義あることだと思う。どの学年も土曜日の 部活大会の重複による多くの生徒の不在など同じ問題を抱えている
  - ・明誠ダイアリーでたえず自分の日常を計画を立てたり、振り返ったりして、学習習慣が身についている 生徒が増えている
  - ・現1年生からは大学に向けてもっと違うことを行った方が良い
  - ・若い教員の自己研鑚の機会が少ない
  - ・教科横断型の授業について、来年度は社会問題をさらに取り上げていきたい
  - ・英検の取得率はまだまだではないかと思う
  - ・明誠ダイアリーを効果的に利用できなかった
  - ・国語の論理エンジンを終えた後に教材として引き継いでいくものが固定化されなかった
  - ・放課後プロジェクト、個別指導、9時まで学習といったものは、あくまで補完的なものであり、主要な対策ではないのではないか
  - ・放課後や土曜日など、学校優先なのか、部活優先なのかをはっきりさせる必要があるのではないか。大 会(公式戦)でもないのに土曜日にいない部活が多く、学力向上の方針とは異なるのではないか
  - ・9時まで学習はやらせるだけでは意味がないので、教員側がもっと介入すべきである
  - ・9 時まで学習の生徒の参加者が増加し、勉強に対する意欲も向上した。今後は「しっかりと 9 時まで勉強を継続する」力を身につけさせることが大切である。終礼後から 9 時までの間に 2~3 時間しか勉強しないようではだめだと思う
  - ・普通科の指導を具体化して進めていくべきである。各教科、共通理解のもと受験に対応できるような学力の向上を目指して取り組む必要がある。教科間で温度差もあり、何とかしたい
  - ・模試やスタディサポートなどの事前学習用の冊子が「やらせるだけ」の状況になってしまっている
  - ・論理エンジンの活用の仕方を更に研究すべきである
  - ・復習テスト、論理エンジンについては実施の有無を含めて、その在り方と方法の見直しが必要である
  - ・土曜の教科横断型授業は各教科担当の個人的な努力に留まっている
  - クラス間に差がある
  - ・各教科で大学入試共通テストの試行問題の研究・検討会を行い、定期テストに導入する際にも教科内で 事前検討・事後分析の機会を設けねばならない
  - ・朝終礼時を活用しての「明誠ダイアリー」の確認指導が学習の PDCA サイクル確立の肝であることを全 教員の共通認識としたい
  - 予習・復習は徹底指導できていないように思う
  - ・国語力の向上のための指導は毎回の課題であるが、いわゆる共通テストに向けた指導が効果的になされているのかわかりにくい

・「9時まで学習」や放課後プロジェクトなど、日々の取り組 みの積み重ねに感謝している。充実した活動ができている と思う

・学校で勉強している生徒も多く、お互いに刺激になりよい ことだと思う

 $\mathbf{B}$ 

75.0

「9時まで学習」については学校教職員の皆さんの努力の賜 だと思う。伝統的な教育・指導の一つとして今後もお願い したい

- ・先生方が力を入れてくださっている教科は実力をつけ、成績にも表れていると感じる(数学:課題、英語:英検、国語:論理エンジン)
- ・英検1級取得者が出たことは素晴らしい実績だと思う
- ・「9時まで学習」の時間を計画的に活用できるようになることが、今後さらに厳しくなる受験への力になると思う
- ・国際教養コースにおいて1年次に実施している地域課題解 決教育プログラムはハードルの高いものであるが、これを 経験しておくことはこれから進路を決める際やその先でも 役立つと思う
- ・勉強で悩んでいる生徒を含めて、なかなか学習が進まない 生徒に補習的な時間を作ってもいいのではと思う
- ・国語・数学・英語以外の教科(理科・社会)の取り組みは どうなっているのか。学力の状態や伸びの不安を感じる
- ・明誠ダイアリーを活用して PDCA サイクルを身に付けてい く努力をするように生徒一人ひとりが意識してほしい
- ・地区懇談会や学年集会において隙間時間の活用が言われるが、これは将来的にも自分を助けることになるのでぜひ実 行させてほしい
- ・時代の変化が著しい中で、基礎学力の定着はとても重要な ものだと思う。個々の進捗状況等により指導アプローチは 様々だと思うが、定着するように指導していただきたい
- ・大学入試で国語力・英語力が必要なことを痛感した。また、文系でも数学はしっかりやった方がいい
- ・難化している大学受験の現状をきちんと理解することが大 切だと思う

П
進路指
導の充
実

 $\overline{\sigma}$ 

向け

め細かな指道

|大学等

の合格

に向け

## ①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャ リア教育の推進を含む)により目標設定と進 路意識の早期確立を図る

- ②教員の教科・進路指導の力量向上を図る
- ③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、 生徒各個人に対応した指導を行う

## 【年2回実施】

④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学 への現役合格達成を図る

## 【現役合格 95%】

- ①○1 学年は、文理選択の「夢ナビシート」・進 路課と外部講師による進路ガイダンス(文 理選択と大学選びについて)・「学部・学科 レポート」による学問分野研究、2学年は、 学部学科説明会 (大学職員による 15 学部・ 学科)・進路課と3学年担任による進路ガ イダンス (センター試験と3年生の受験成 果について)、3年生は大学説明会(大学職 員による25大学)を実施し、進路意識の 高揚を図った。
- 路指導力の向上に向け、研鑽に努めた。今 後は研修内容の校内への還元を図る機会 を増やしたい。
- ノウハウの共有化を図るためにも、各教科 で授業研究の回数をより増やしたい。ま た、『明誠ダイアリー』を活用したPDC Aサイクルの確立が、学力伸長と進路実現 につながることを職員の共通認識とした V
- ③◇外部模試後の分析・検証を受けての、教科 全体のアクションの部分が弱いように感 じられた

## ②○夏季の駿台研修には、若手を中心に昨年の 倍となる 12 人の職員が参加し、教科・進

- ◇経験があり指導力のある教員の指導方法・
- ④◇大学現役合格率は93.4%(241人)で目標 の95%をやや下回った。4年制大学志望者の 大学入学率は86% (221人) で、浪人が14% (36人) であったことが残念であった。

- 【第3学年 進路目標】 東大・京大・国公立大医学部→8 名以上、 旧帝大→10名以上、国公立大→75名以上、 静大・静岡県大・静岡文芸大→40名以上、 早大・慶大→10名以上、GMARCH・東京 理科・関関同立→70名以上合格 ※県内特 に静大・静岡県立大の合格者数を伸ばす。
- ②東大・京大等の入試問題研究を行い、合格 へ向けての効果的な指導を研究する
- ③新大学入試制度に向けての研究と対策を行

①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格

できるような学習・進路指導を推進する

- ④実力養成のための授業力強化及び個別指導 を充実させる。
- ⑤高3センター試験後の二次対策講座の実施 方法を改善し、受験計画完投の指導法を確 立する
- ①○一般合格は難しいと考えられた生徒が、国 公立大学AO・推薦入試に挑戦し、見事合 格を果たしたケースが目立った(国立9、 公立10)。国公立では定員の3割をこの形 式の入試で確保することになるため(後期 はより減少)、労多く危険も伴う入試であ るが、担任・学年団の熱心な指導の成果で あった。一方、大規模私立大学では定員の 1.1 倍問題からAO・推薦・一般入試にい たるまで合格者の絞り込みが行われ、中堅 私立大学で苦戦するケースもあったが、難 関校である GMARCH・東京理科・関関同 立は、前年 44 より 57 と合格数を増やし た。
  - ○現役合格 国公立大学 → 東京1名、名 古屋1名、大阪1名(旧帝大計3名)、静 岡14名、静岡県立5名、国公立大学計48 名合格。

- 十分だと思う
- ・多くの生徒が放課後に教員と勉強している姿が見られる
- ・学年集会やHR活動を通して生徒への意識付けが行われていると思う
- ・外部の研修に参加する機会をおおくいただき、刺激を受けた
- ・多すぎる程に情報は与えられている

63.2

1.5

22.1

В

58.8

C

11.8

D

- ・駿台研修に参加させていただきました。他の進学校の先生方と交流や意見交換もでき、指導の研鑽がで
- ・昨年度に引き続き3年生への大学説明会、2年生への学部学科説明会は生徒も意欲的に参加し、進路意 識高揚の効があった
- 13.2 ・駿台研修会への多数参加は授業改善への個々の意識変化となって表れている。今後も学校のサポートで 参加を継続してほしい
  - ・ダイアリーの活用によって「有効活用→成功」という生徒が出てきている
  - ・進路のために1年次の進路ガイダンスや2年次の学部・学科説明会は生徒自身の進路の明確化にとても 役立っている。また、教員の進路指導力向上のための研修会への参加者の増加は生徒の進路目標実現の ために必要だと思う
  - ・教員に大学入試共通テストに対する理解がどのくらいあるのだろうか
  - 一年生に対してもっと新しい情報を提供していきたかった。
  - ・将来のことを何も考えていない生徒が結構いる。個人面談で生徒に現実的な話をもっとした方がいい
  - ・もっと一年生のうちから進路について考えさせる機会を増やしてはどうかと思う
  - ・受験教科指導がしっかりできる若手教員が少ない
  - 外部模試の結果を各教科でもっと分析すべきである
  - ・時機をとらえた学年集会を開きたいと考えているが、他の行事等との絡みでタイミングよく集会を開く ことができない
  - ・データをもとにした指導計画や授業実践がない
  - ・進路講話などの時間が少なく、また、時代に応じた職業選択(キャリア形成)の説明が不十分である
  - ・進路選択のための資料は十分にあり、生徒にとって有効である。ただ、指導のやりっ放しにならないよ うな工夫が必要である
  - ・入試改革に向けた具体策があるとよい
  - ・進路指導やキャリア教育に向けた意識共有の機会(担任間、学年間)に乏しいと思う
  - 外部模試結果の検討会はおこなわれていない。学年の中での共有は行われた。
  - ・進路に関する指導はとても細やかである反面、文理選択での指導が弱いと思う(総文コースなのに数学 が必要、理系なのに文系志望など)
  - ・特に普通科クラスへの進路指導をより具体的に行うべきである
  - ・進路講話やガイダンス等、よく実践できていると思うが、学部レポートなどの宿題を出しても普通科の 生徒はあまりやってこない。工夫が必要だと思う
  - ・模試の振り返りを徹底させたい。また、明誠ダイアリーの活用がクラスによってバラバラである
  - ・入学してくる生徒の学力層が全体的に低下している現状から考えると、よく検討している

・国公立大の中期・後期入試への挑戦者が大幅に増えたことは学年の指導の賜だと思う

- ・全員が学習に集中するように取り組んだ
- ・進路課の教員研修により危機感が煽られた
- ・推薦入試や国公立大入試に向けた小論文指導において、一人の生徒に対して複数の教員が協力して指導 を行うことができた
- ・小論文指導等、とても細かく指導している
- ・二次対策講座は前年より取得率(参加)がよく(75%)、講座修了後も後期入試の個別指導を積極的に受 ける者が多く、学年団の求心力を感じた
- ・難大学合格にターゲットを絞った講座を開いて指導すべきである
- ・入学定員厳守化の影響で本年も私大入試の難化傾向が続き、安全策を取り併願校を増やす受験生の増加 が都心の有名私大の合格を厳しくさせた
- ・学校全体として入試制度改革の学習・研究が確実にできているとは言い難い
- 7.3 ・受験指導のできる教員が必要である
  - ・難関大学合格者を出すには学校として全ての教科において対策を講じる必要がある
  - ・来年度以降、さらに苦労する可能性が高い。生徒には推薦に頼らない指導をしていく必要がある
  - ・教員のノウハウを養成する機会がもっとあるとよい。研修などに参加できる余裕がほしい
  - ・学力トップ層の指導は一部の限られた教員の取り組みとなっている

- ・大変熱心に充実した進路指導がなされていると思う
- ・外部模試結果の指導をお願いしたい

することが必要である

12.5

 $\mathbf{B}$ 

87.5

0

12.5

В

 $\mathbf{C}$ 

D

0

- ・進学校であるので有名大学に進学させることが目標である。 将来どんな職業に就くのか、そのためにはどのような進学 (大学・学部・学科) が必要か。生徒・保護者と担任が共有
- ・生徒自身のビジョンを作文として提出させ、担任・保護者が 生徒の将来について確認し、共有することが必要である
- ・浪人の 14%は多いという印象である。最後まで国公立大学 に固執したため、MARCH レベルの大学に合格できたかも しれない生徒たちが教科を絞って受験に望むことができな かった、という声を聞いた。生徒が行きたい大学に行けるよ うに早めの私大への切り替えがあってもいいのではないか
- 受験対策のための専門スタッフを養成、あるいは外部から招 聘してはどうか
- ・入試スタイルが変わるにしても基礎が大切のことは変わら ないと思うと思う
- ・先輩の受験期の様子を聞き、鵜呑みにしないことも大切だと 思う。受験の様子は変化していることへの生徒・保護者の理 解が必要である
- ・素直になる、PDCA サイクルを回すことができるようにな ることは受験期ばかりでなく、将来のために大切な力となる
- 大学の運動部で単位不足なら出場停止の措置をとる動きも ある。部活動に重きを置いている生徒・保護者にも理解して ほしい
- ・高校2年の1月を高校3年0ヶ月として志望理由完成用紙 を作成すると効果的であると大学視察の講話で伺った。受験 生の意識を高めるために大切なことだと思う
- ・1 年次よりオープンキャンパスへ足を運ぶことは大切であ る。生徒も保護者も実際に足を運んで大学を肌で感じること は、受験期の志望校決定の際に参考になると思う
- ・改善点も残るが、大変細やかな指導がなされており、感謝し ている
- ・難関大学への合格は増えていると思う
- ・先生方の熱心な指導が生徒の進路目標のためのメンタル面 も支えていると思う
- 難関大学の卒業生を呼んで、生の声を聞く機会が何度かある。 と生徒のモチベーションが上がるのではないか
- ・難関大学への合格者数の伸びはいかがか。専門家の派遣を含 め、指導の在り方について再考が必要だと思う
- ・国公立大学推薦入試等で有効であると思うので、1・2年次の 長期休暇等を使って定期的に小論文を作成させてはどうか
- 大学のオープンキャンパスに1・2年次に参加していない、 または難関大学入試対策の情報量が少ないケースがある。受 験に向けて何が必要なのか(学習、模試等)、生徒・保護者 ともに理解しておくことが重要である
- ・生徒も保護者も学校より提供された情報を有効に活用する こと、その情報からさらに必要な情報を自ら入手していくこ とも大切である

			難関私立大学 → 早稲田 2 名、明治 8 名、青山学院 4 名、中央 8 名、法政 7 名、東京理科 5 名、学習院 2 名、関西 6 名、関西学院 3 名、同志社 1 名、立命館 9 名 計57 名  ②◇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導については、ベテラン職員に固定されている感がある。中堅・若手職員の受験指導の研修の回数を増やすべきであった。  ③◇外部研修に積極的に参加する職員も多いが、校内研修をより充実する必要がある。 ④○各教科で放課後に入試対策として個別指導を行って頂き効果があった。 ⑤二次対策講座は、前年より回数を増やすことができたが、取得率は前年並み(65%→67%)であった。学校から逃さない、引き付ける求心力にこだわり期間も延長したい。		・教員間に指導力の差がある ・新テストに向けて各教科で研究を進めているが、進捗状況は教科でバラバラである感じがする ・新入試制度について教員の理解がまだまだ不十分である ・普通科の生徒が国公立大に進学するための放課後の指導をもっとやるべきだと思う ・地方の国公立大の利点をさらにアピールし、生徒・保護者に認識させることが必要。アピール方法についても工夫が必要。15 年まえより東京・関東にこだわる傾向が一層強くなっている ・地域に密着した国公立大即ち静岡大、静岡県立大、静岡文化芸術大への合格者を増やす対策を強く打ち出すべきではないか ・今後も合格実績を維持・向上させるためにも若手教員への指導を計画的に実施しなくてはならないと思う ・難関大学の受験指導を行える若手教員の育成は急務である。合格者数増は本校の根幹に関わる事案である。ベテラン教員が多くいる今のうちから対策を講じる必要がある ・東大・京大、国公立大医学部への現役合格者を出したかった ・二次対策講座を1月から始めるには午後の時間を利用するしかないのではないか		・大学選択は生徒の人生の中でも大きなイベントである。世の中は流動的で、家庭によって諸事情も異なるので広い視野を持って選択していくことが必要である。定員の厳格化等で難化が進み、かなり厳しい受験にここ数年なっている。このあたりもよく理解して臨まなければ、と思う・第1志望・第2志望・第3志望の各大学・学部の特色を捉え、本人との適合性を加味した上で受験校を決める。受験の傾向・対策、受ける模試等も検討すべきである
<ul><li>心でや生育</li><li>かわなの</li><li>がわなのの</li></ul>	2 3 4 5 6 7	情をなくすとともに交通事故防止を図る 【交通事故 10 件以内】 ②徳育を強化し、思いやりの心を育成すると ともに問題行動の発生を防止する	①○礼節指導を継続して指導した。挨拶は良好である。 ◇登校時の鞄の違反(無許可のバッグ等)や、商店での振る舞いなど、校外での社会道徳や一般常識の一層の向上が必要である。 ②○サッカー部、陸上部、バレー部、野球部等の自主的な清掃活動(早朝等)により、校地や学校周辺の環境美化ができた。 ◇HRで清掃活動指導を行ったが、指導しきれない部分もあった。 ③○交通安全委員による街頭交通指導は交通安全推進に貢献した。 ◇交通マナーについて HR 等で繰り返し指導したが、地域住民から交通マナーに対する苦情が時折寄せられた。 ◇【交通事故 20 件】内 6 件は相手側の過失。ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように注意。 ◇自転車施錠点検を実施。施錠車率は向上したが、定着しない生徒もあり継続指導が必要。 ④⑤○いじめ調査は3回(7月、11月、2月)実施したが、実施時期を早めたことにより、早期対応ができた。いじめに関する調査、イエロカートの活用はいじめの防止に役立った。 ⑥◇SNSによるトラブがは特になし。 ○【いじめ調査年3回実施】	A 19.1 %  B 61.8 %  C 19.1 %  D 0 %	・清掃で高3 4を担当したが、自分たちから進んで清掃を行ってくれた ・SNS 関係は厳しくしておく方がいい 生徒は明るい雰囲気の中で学校生活を送っていると思う ・いじめなどは学年やクラスによって差もあるが、大きな問題となる前に動くことができている ・挨拶は良好だと思う ・服装などの身だしなみについては概ねできていたと思う ・ で通マナーの意識が低い生徒への指導がさらに必要である ・ 徳育の強化は交通マナーや服装・身なりに繋がっていくと思う。継続的な指導が必要である ・ 心ろいろな問題は多いとは思うが、まずは清掃を徹底的に行うところから始めたい ・ 清掃指導をしっかりやった方がいい ・ 清掃指導・教室管理の面で教員の意識に差が大きい。自分たちの生活の場であり、将来に残していかなければならない教育環境であることを生徒に伝えようとする意識が低いと思う ・ 規範意識は低下している。生徒全体がおだやかな気質になっていることに教われている ・ 自転車マナー、電車(ホーム)内でのマナーの悪さが目につくことが多い。特に自転車は店舗駐車場のショートカットや横断歩道のない場所の横断、歩道での並進など多くの人に迷惑をかけることになる生徒が多い ・ 運動部の生徒の暴言や授業不参加は目に余る。手を変え品を変えても態度が変わらない生徒は退学でよいと思う ・ 学校の指導に対して表立って反抗する生徒はほとんどいないと言っていいが、違反マフラーや自転車の無施錠等「これ位ならいいだろう」といった面倒くさがる傾向が強く、指導がモグラ叩き的な側面を持っていると言える ・ 交通安全の指導については校外のことでもあり難しいが、更に充実した取り組みをしたい ・ 自転車での事故が減らない、マナーや乗り方も含めてしっかりと指導していくべきだと思う ・ 部活では清掃しても、教室では清掃しない。本質を見つめ直して、現状を変える指導をしていきたい ・ 部活では清掃とてもよく行っているが、学校の清掃時間の清掃に手を抜く。本質と異なる者もいる ・ 校内巡視がなくなり、全体的にスキがあるように感じる。教室内でマナー等、見直しする必要がある ・ 「一礼」か「黙想」などは「形式」を整えた上で、その意義や内容についての指導が必要だと感じる ・ 予鈴黙想はほとんどのクラスで行えていない。中途半端にするなら止めた方がいいのではないか ・ 生徒の美化、整理整頓への意識が低い ・ 交通マナーの苦情なども多く着いもれる。さらなる改善を図るべきである ・ クラスによって差がありすぎる ・ 教員が関題を識を持って指導しているとは言い難く、指導のバラッキが気になる ・ 教員が関題を適と持って指導しているとは言い難く、指導のバラッキが気になる	A 12.5 %  B 75.0 %  C 12.5 %  D 0 %	・他校に比べるとよく指導されている。保護者等からの要求レベルは高いと思うが、家庭教育・躾も含めて、学校・保護者が一体となってすすめてほしい ・携帯電話を持たせてほしいという要望が、特に1年父母から出るが、最終的には持たせない方が、様々な問題もなく、スムーズに学校生活を送ることができたと感じている・交通マナーが悪すぎる・並進で話ながら自転車に乗っている・清掃・マナーに対して、今一度原点に戻り、再確認し、共通認識のもとで指導をお願いしたい ・生徒一人ひとりの意識の向上に期待したい ・校内外で明誠の顔としての自覚をさらに高めてほしい ・運動部の生徒が暴言や授業不参加について、なぜ、そのような行為をするのか、生徒の本音を聞き出すことが必要である。その上で授業に参加し、努力する精神を持たせることが必要である ・自転車マナーでは登校時のスピードの出し過ぎ、駐車場などのショートカット、一旦停止無視等の問題があるが、登校時間等について家庭の協力をお願いし、改善してほしい ・自転車のマナー違反は厳しい状況になることも考えられる生徒が自覚するように引き続き指導をお願いしたい ・社会性・道徳性を身に付けることは大切である。多様化し、変化の激しい社会の中で学校とここの家庭が連携して取り組む必要がある

	①を座め屋が壁のは小さ回す ノンフェーン	①○タカニッル工化沙主ボの治11.料中の投	Λ	. 印光については振わしいし用る ブッフェアン 近り盛けて叶と傷むよりいはかい	Α	. 引き建き圧が羽縄は直行が下田さー直が下れて、長畑の青枝
基本	①欠席や遅刻等の減少を図る。インフルエン	①○各クラスに手指消毒薬の導入と教室の換 を放り供収により出来の対小が見	A	・服装については概ねよいと思う。インフルエンザ対策は予防を徹底する以外ない	A	・引き続き生活習慣は良好だと思う。身だしなみ、挨拶が高校 生らしく気持ちがよい
的	ザについては感染防止対策を徹底する	気等の徹底により例年より患者の減少が見		・大半の生徒がきちんと校則を守れていたと思う	12.5	<u> </u>
生	②正しい身だしなみの指導を徹底する	られた。	%	・服装が乱れている生徒は見られなかった	%	・身だしなみはきちんとしていると思う。ほんの少しの心の調整で自分に負けないように期待している
生活習	【学年全体風紀指導年6回実施】	◇遅刻が減少するには至らなかった。	<b>6</b>	・校風検査がなくても、指導を継続することで遵守させることができている	В	
愪	③ジャージ・サマーセーター等の着用指導を	②○学年校風指導を学年団の意思統一のもと	<u>B</u>	・服装でのトラブルが減少した		・校外でもきちんとした服装でいると思う
T±	徹底する	で6回実施した。服装面で大きな乱れもなく、	57.4	・生活習慣の確立は概ねできていたと思う	87.5	・よく指導されていると思うが、さらなる高みを目ざしていた
笠	④基本的生活習慣の指導を職員の共通理解の	スカート丈についても良好であった。	%	・教室内等、校内でのジャージ着用が本当に減ってきた	%	だきたい。保護者にも協力を願っていただきたい
	もとに実施する	○【学年全体校風指導年6回実施】	~	・遅刻がとにかく多い	~	・身だしなみは概ね良好と感じる。引き続き定期的な指導をお
	⑤校則遵守の徹底を図る	③○基本的な生活態度はある程度確立されて	С	・女子生徒の校風(身だしなみ)に認識の違いがありすぎる。女性教員をはじめ全教員で共通理解を図る		願いしたい
		いた。体育、清掃・作業時以外のジャージ着		必要がある	0	・身だしなみは校則に沿って、共通認識で指導されたい
		用は見られない。	%	・校内でのマナーは概ね良好であるが、校外での自転車運転、公共施設(含:電車)でのマナーについて、	%	・うがい、手洗い、咳きエチケットの必要性を生徒が理解でき
		○乙女塾の実施等、女子指導は充実してき		一部生徒による好まざる姿が見られる。帰宅するまでが明誠生という自覚と責任をさらに高めたい		るように指導していただきたい。一緒の空間で生活をともに
		た。	D	・清掃時のジャージ着用が全体で統一されていない	D	する寮で感染症に罹患者が出ると感染拡大のリスクが生じ
		◇さらに職員の指導の共通性を図りたい。	0	・清掃時のジャージ着用の姿が見られなかった	0	ると思う。医療機関等に設置されている罹患者用の個室対応
		④○生徒は校則をおおむね遵守していた。	%	・寮生のインフルエンザ対策は全員予防接種する等の措置を講じるべき	%	等適切な措置をとることを検討していただきたい
				・寮生を中心にインフルエンザが流行したことを考え、予防接種の推奨などを考えたい		・所作を身に付けることは将来的にも役立つ。現在の社会背景
				・昇降口が汚いのが気になる。特に下駄箱の上の部分に個人の靴が置かれている。来客もあり、改善すべ		も考えて、今の指導を継続していただきたい 
				きである		
				・自己体調管理が不十分すぎる。手洗い、うがい、ほとんどしていない。指導していく		
				・校風検査など、学年団で協力して行ったが、さらなる指導が必要である		
				・指導のバラツキがあり、特に服装に関する指導が不十分である		
				・普通科での服装や校則を守らない生徒が多かった。部活を含めて全体で指導していくべきだと思う		
				・校風検査はその場だけという風潮を否めない。また、男性教員も女子生徒の検査をできる範囲で行えば		
				すぐ終わると思う		
				・性差別が騒がれる社会である今、女子生徒だけを集める乙女塾は実施して大丈夫なのかと不安に思う		
	①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生	①○多くの生徒が部活動に加入している。	A	・勝敗や結果はともかく、加入率向上を目指し、活動するということは十分に達成できている	A	・部活動加入率が 81%と高く、国公立大学や難関大学の合格
立7	活面での指導も強化することにより、心身	きて	38.2	・部活も勉強も両方頑張っている生徒が増えた結果だと思う	25.0	率も良好であることは素晴らしいと思う
剅	IIII ( ) II ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )					
部	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う	○【部活動加入率約81%】	%	・十分である	%	・活躍している姿を見ることができている。部活動での頑張り
活動の			%	<ul><li>・十分である</li><li>・結果にこだわりたい</li></ul>	, ,	・活躍している姿を見ることができている。 部活動での頑張り が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う
活動の	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う	○【部活動加入率約 81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になっ	% <b>B</b>		% <b>B</b>	
活動の	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】	○【部活動加入率約 81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になっ	В	・結果にこだわりたい	, ,	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う
活動の	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になっ てきた。	B 51.5	<ul><li>・結果にこだわりたい</li><li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li></ul>	В	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす	<ul><li>○【部活動加入率約81%】</li><li>○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。</li><li>○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動</li></ul>	B 51.5	<ul><li>・結果にこだわりたい</li><li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li><li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li></ul>	В	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物やHP、報道等で部活の活躍を目にすることが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな	B 51.5 %	<ul><li>・結果にこだわりたい</li><li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li><li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li><li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li></ul>	В	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物やHP、報道等で部活の活躍を目にすることが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。	B 51.5 %	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> </ul>	B 62.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物やHP、報道等で部活の活躍を目にする、とが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと打って指導されたい
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて	B 51.5 %	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> </ul>	B 62.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物やHP、報道等で部活の活躍を目にする、とが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと打って指導されたい
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来る	B 51.5 %	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> <li>・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある</li> </ul>	B 62.5 % C 12.5	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にする、とが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと打って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。	B 51.5 %	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> <li>・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある</li> <li>・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である</li> </ul>	B 62.5 % C 12.5	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にする。とが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと行って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことでは
部活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。 ○部室点検を実施した。	B 51.5 % C 7.4 %	・結果にこだわりたい ・文武両道を意識している生徒が多いと感じる ・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる ・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい ・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している ・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる ・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある ・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である ・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の	B 62.5 % C 12.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にする。とが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと行って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことでは
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	<ul> <li>【部活動加入率約81%】</li> <li>○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。</li> <li>○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。</li> <li>○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。</li> <li>○部室点検を実施した。</li> <li>◇部室等の施錠の徹底が不十分であった。</li> </ul>	B 51.5 % C 7.4 % D	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> <li>・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある</li> <li>・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である</li> <li>・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の夢ばかり追いかけて勉学に励んでいない。文武両道とは部活も勉強もできるだけ上を目指すことだと考</li> </ul>	B 62.5 % C 12.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にする、とが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと打って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことであから、隙間時間を活用するなどして学習に取り組むように指導していただきたい
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。 ○部室点検を実施した。 ◇部室等の施錠の徹底が不十分であった。 ②○野球部が甲子園初出場、陸上部、柔道部、棋	B 51.5 % C 7.4 % D 2.9	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> <li>・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある</li> <li>・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である</li> <li>・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の夢ばかり追いかけて勉学に励んでいない。文武両道とは部活も勉強もできるだけ上を目指すことだと考える</li> </ul>	B 62.5 % C 12.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にするとが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと行って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことであるから、隙間時間を活用するなどして学習に取り組むように指導していただきたい ・部活動への取り組みは生徒個々の希望進路によって差がある。
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。 ○部室点検を実施した。 ◇部室等の施錠の徹底が不十分であった。 ②○野球部が甲子園初出場、陸上部、柔道部、棋道部、射撃同好会が全国大会に出場した。	B 51.5 % C 7.4 % D 2.9	・結果にこだわりたい ・文武両道を意識している生徒が多いと感じる ・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる ・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい ・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している ・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる ・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある ・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である ・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の夢ばかり追いかけて勉学に励んでいない。文武両道とは部活も勉強もできるだけ上を目指すことだと考える ・女子の部活動の充実を。生徒募集にも関わることだ思う	B 62.5 % C 12.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にするとが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと行って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことであるから、隙間時間を活用するなどして学習に取り組むように指導していただきたい ・部活動への取り組みは生徒個々の希望進路によって差がある。
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。 ○部室点検を実施した。 ◇部室等の施錠の徹底が不十分であった。 ②○野球部が甲子園初出場、陸上部、柔道部、棋道部、射撃同好会が全国大会に出場した。バスケットボール部が東海大会に出場し	B 51.5 % C 7.4 % D 2.9	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> <li>・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある</li> <li>・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である</li> <li>・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の夢ばかり追いかけて勉学に励んでいない。文武両道とは部活も勉強もできるだけ上を目指すことだと考える</li> <li>・女子の部活動の充実を。生徒募集にも関わることだ思う</li> <li>・部活動を通して勉強や社会性の大切さをもっと指導していくべきである</li> </ul>	B 62.5 % C 12.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にすることが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと打って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことであから、隙間時間を活用するなどして学習に取り組むように指導していただきたい ・部活動への取り組みは生徒個々の希望進路によって差があるものだと思う。進路達成のための柔軟な対応をしていただ
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。 ○部室点検を実施した。 ◇部室等の施錠の徹底が不十分であった。 ②○野球部が甲子園初出場、陸上部、柔道部、棋道部、射撃同好会が全国大会に出場した。バスケットボール部が東海大会に出場した。図書研究会が高校生直木賞に参加。吹	B 51.5 % C 7.4 % D 2.9	<ul> <li>・結果にこだわりたい</li> <li>・文武両道を意識している生徒が多いと感じる</li> <li>・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる</li> <li>・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい</li> <li>・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している</li> <li>・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる</li> <li>・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある</li> <li>・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である</li> <li>・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の夢ばかり追いかけて勉学に励んでいない。文武両道とは部活も勉強もできるだけ上を目指すことだと考える</li> <li>・女子の部活動の充実を。生徒募集にも関わることだ思う</li> <li>・部活動を通して勉強や社会性の大切さをもっと指導していくべきである</li> <li>・女子の部活がもう少しあるとよい</li> </ul>	B 62.5 % C 12.5 %	が必ず、勉強面・生活面に生きてくると思う ・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物やHP、報道等で部活の活躍を目にすることが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと持って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことであるから、隙間時間を活用するなどして学習に取り組むように指導していただきたい ・部活動への取り組みは生徒個々の希望進路によって差があるものだと思う。進路達成のための柔軟な対応をしていただ
活動の充実	を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での 上位進出を果たす 【県大会出場〜全ての部、全国大会出場〜4	○【部活動加入率約81%】 ○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。 ○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。 ○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。 ○部室点検を実施した。 ◇部室等の施錠の徹底が不十分であった。 ②○野球部が甲子園初出場、陸上部、柔道部、棋道部、射撃同好会が全国大会に出場した。バスケットボール部が東海大会に出場した。図書研究会が高校生直木賞に参加。吹奏楽部等も県大会で活躍した。ほとんどの	B 51.5 % C 7.4 % D 2.9	・結果にこだわりたい ・文武両道を意識している生徒が多いと感じる ・陸上、バスケ、野球、サッカー、チアなど全ての部活動において高い評価を得ていると感じる ・どの部活も一生懸命やっていた。バスケット部の勢いが今とてもよい ・どの部活も力を入れており、部活を通してのコミュニケーション能力の向上している ・全国大会出場部活もあり、生徒は熱心に取り組んでいる ・部活動と学校・学習活動との優先順位を生徒に理解させる必要がある ・寮生の遅刻や寮内での過ごし方に甘さがあり、指導体制の強化、連携の強化が必要である ・普通科の生徒は部活のことしか考えない生徒が多い。プロになれるのはほんの一握りである。部活上の夢ばかり追いかけて勉学に励んでいない。文武両道とは部活も勉強もできるだけ上を目指すことだと考える ・女子の部活動の充実を。生徒募集にも関わることだ思う ・部活動を通して勉強や社会性の大切さをもっと指導していくべきである ・女子の部活がもう少しあるとよい ・部室等の施錠に課題有り	B 62.5 % C 12.5 %	・文武両道の指導をされていると思う ・学校からの配布物や HP、報道等で部活の活躍を目にすることが多い。一生懸命取り組んでいる成果だと思う ・どの部活も頑張っているが、「文武両道」の認識をもっと持って指導されたい ・部活動での指導に差がある。どの部活も強くなるような指導をお願いしたい ・学習に取り組むことも将来のためにとても大切なことであるから、隙間時間を活用するなどして学習に取り組むように指導していただきたい ・部活動への取り組みは生徒個々の希望進路によって差があるものだと思う。進路達成のための柔軟な対応をしていただ

IV	ᄮ	① 広報誌の発行、報道機関への周知	①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広	Α	・ホームページはきれいで、更新も適切にできている。スクールバスの時刻の掲載もよいと思う	A	・HPの行事、スクールバスの運行予定等のお知らせがわかり
 広報 •	効果	等様々な手段を通して、本校教育に対する	報誌「初心」など予定通り発行した。	38.2	・十分である。現状を継続していく	50.0	やすい
涉外活	的	保護者や地域社会の理解を深める	○日刊スポーツ社に委託して「学校紹介新聞	%	・明誠ニュースなどで校内の情報を発信できている	%	<ul><li>・地域の方々との繋がりをもつことは大切である。続けていた</li></ul>
動の充	な広	②ホームページ(HP)の更新を積極的に行	(科・コース版・部活版」を発行し、小中	, 0	・生徒会のラジオ活動、バスケットボール部、チアリーディング部のテレビ出演など、メディアへの露出	,,	だきたい
実	報	い、効果的な情報発信を行い、併せてホー	学生の募集活動に活用した。	В	がみられた	В	・学校経営にとって広報活動は大変重要であるが、その意識の
	洁動	ムページのリニューアルを行う	○野球部の甲子園出場等が大きくマスコミ	51.5	・HPのリニューアルは内容充実、見やすさからも大変よかった	50.0	高さを感じる
	Ĩ.	【年間訪問者(アクセス数)30,000以上、直	に取り上げられ周知が進んだ。	%	・HPのリニューアル後、周りに伝えたい情報がかっきりと伝わっていると思う。周りの人々からの声もた	%	・様々に工夫してアピールして、充実した活動ができている
	よる	帰率 40%未満】	○保護者会地区会で出された質問や要望へ	,,	くさんいただいた	, ,	・HPについて、シンプルで伝える力の強いレイアウトで、現
	る学校理解	③より本校理解が深まり、募集に効果的な内	の回答を文書で配布した。	$\mathbf{C}$	・HPの更新も積極的に行われていたと思う	C	在活用できる情報を全て取り入れるのではなく、重要なこと
	校田	容にするために、広報誌等の見直しを行う	②○HP の訪問者数が大幅に増えた。HP の更	4.4	<ul><li>・ HP のリニューアルに伴い、情報の確認がしやすく、見やすいホームページになった</li></ul>	0	や関心を持ってもらえそうなものがしっかりと見えるよう
	薢	④地域の自治会等への情報提供や学校行事へ	新を積極的に行い、内容の工夫も行った。	%	・広報紙等、予定通り発行することができた	%	に(見える化)なっていればいいと思う
	の位	の招待等を積極的に行い、学校理解の促進	◇HP をリニューアルし、内容を充実させた。	, 0	・明誠ニュースは、よく発行されていて、本校に興味を持つ人が増えると思う。本校理解にも繋がるよい	,,,	・少子化問題等、様々な課題がある中、地域に愛され、応援さ
	の促進	と広報の推進を図る	○◇【リニューアル (2017年10月1日) の	D	手段だと思う	D	れ続ける学校であってほしいと思う。卒業生や関わりのある
		CMIN SINCELLO	訪問者 47,141 人、月平均 1、684 直帰率	5.9	・ホームページだけでなく、フェイスブックなどを活用してどうか	0	人たちとの繋がりを今以上に大切にしていただきたい
			39.3%]	%	・結果が出ている募集活動とそうでない活動の検証が不十分である	%	・外部の広報専門業者にお願いすることも必要かと思う
			③○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治	, 0	・学則定数に達しなかった	,,,	・HP がリニューアルされ見やすくなったが、ページの内容が
			会役員を招いた。		・インパクトがあって印象に残る、例えば5秒CM等を活用し「伸びる」「伸ばす」印象を強調したい		乏しい
			ADACII. IC.		・明誠の良さは何なのか、もう一度再確認して発信していくことも必要である		・フェイスブックやインスタグラム等で学校の様子をアップ ・
					・アピールすることが少ないのではないか。学校として特色がほしい。新たな取り組みが必要だと感じる		している学校が多くなっている。広報活動に活かしてはどう
					・部活と学習の両立をアピールした方が生徒も親も魅力を感じると思う。文武両道をアピールしていくと		h
					いい		~
-	1主	<ul><li>①小中学校への積極的な学校訪問等により募</li></ul>	<ul><li>①②○一日体験入学の参加者は生徒 1,555 人、</li></ul>	A	・係の一人として中学校訪問を頑張った	A	<ul><li>・日々の活動の積み重ねが成果として出ていると思う</li></ul>
	極極	集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に	保護者 732 人、合計 2,287 人と昨年度より	42.6	・十分である		・募集のために必要な部活動や学業・進路の実績が充分で、効
	的	有効な方策を具体的かつ速やかに実施する	約100人減少したが、今年度より実施した	%	・学校説明会はいつも図書室が一杯になるほどの動員ができている	%	果的だと思う。これからも渉外活動に熱心に取り組んでいた
	な渉	②小笠・榛原・焼津・島田・藤枝の各地域の	1 週間後の説明会には生徒 141 人、保護者	,,	・本校のよさをアピールするために渉外活動を活発に行った。地域ごとの説明会も多くやっていてよいア		だきたい
	外	訪問重点校と訪問校を定め、組織的に募集	99 人、合計 240 人の参加者があった。併	В	ピールになったと思う	В	・変革の時代の中で学習する環境が備わっていないと大学受
	活動	活動を展開する	せて学校説明会への参加者は483人(前年	45.6	・18歳人口減のなか、できる限りの渉外活動が行われていると思う	50.0	験の際に大変苦労すると考えられる。ここ数年の大学受験の
	<u>õ</u>	③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る	比 12%) 増となった。	%	・少子高齢化の影響下で、募集についてはほぼ達成できたのではないか	%	難化に対して学校としてどう対応していくかを学外へアピ
	美践	④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保	○志太、榛原地区への中学校訪問を職員で分		・説明会のバリエーションが増やすことができるともっと効果的になると思う		ールしていくことも検討していかなければならないと思う
		に努めるとともに入試内容・方法について	担し、3年主任や進路指導主事と直接面談	С	・「新テスト(共通テスト)」にどれだけ万全の準備をしているか告知する必要がある	С	・浪人生の増加は公立・私立ともに見られる。そのあたりも分
		見直す	して募集拡大を図った。また、通学費補助	4.4	・今ではなく、今後を見据えた渉外活動をしていく必要がある	0	析してどのような学習の場を提供するか検討して、取り組ん
		⑤「一日体験入学」「入試直前相談会」の充	の対象となる静岡、小笠地区では重点校を	%	・学習塾と提携を結ぶなど、工夫をしていく必要がある	%	でみてはどうか
		実、取り組みの強化を図る	絞り募集活動を行った、さらに、学習塾へ		・福岡・札幌入試は果たして有効なのか検討すべきではないか。費用対効果が低いように感じる。特に、		・一番の良さは先生が生徒一人ひとりをよく見ていること、進
		【学則定員の確保】	の訪問を積極的に行った。	D	学習の生徒への対応は疑問。寮内での学習環境がよくない	D	路についてもていねいに相談にのってくれる。そういうとこ
			各中学校が計画する進路学習会への参	7.4	・入試時の掲示物が分かりにくかったり、セロハンテープで窓に直接貼ったりと見栄えが悪かった	0	ろをもっとアピールしたい
			加依頼が19校(前年比7校増)あった。	%	・「一日体験入学」等で来校してもらい、更に「本気で入学したい」と思わせるような工夫をより充実させ	%	
			また、小笠地区の全中学校から本校への		たい		
			志願者(単願・併願)がいた。		・進学だけでは公立の進学校へ生徒は行ってしまう。部活動もやりたくて多くの生徒は高校を選んでいる。		
			○高校入試の合格者数は、普通科が948人(単		英数科であっても部活動ができる状況をもっとつくっていかないと生徒の人気は出ないと思う		
			願 182)、英数科が 832 人(単願 110)、合計		・中学校の学年主任・進路指導主事が若返りし始めている。再度、アピールとシステム理解を図る必要が		
			1,780人(単願 292)となり、昨年度より単願		ある		
			で 12 名増加した。併願者の戻り 45 名を含		・学習特待生増加のための方策を検討する必要がある		
			め入学者は374名となり、学測定委員360		・決まった担当者がそれぞれの中学校を定期的に訪問することで中学校とのつながりが深まっているが、		
			名を超えた。		もう少し多くの教員が中学校訪問に携わった方がいい		
			③◇福岡・札幌入試は、受験者は 106 人(昨年				
			比 15 人減)であったが、単願合格者は 6 人				
			であった。学習特待生の入学を増やすため				
			の方策を検討する必要がある。				
<u>'</u>						•	

V	÷	①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施で	①○毎火曜日早朝に理事長点検を実施し施設	Α	・生徒は落ち着いた環境で学習に取り組んでいた	A	・適宜修繕していただいていると思う。経営のバランス等、
教育施	安全	きるよう常に配慮する	の安全を確保した。	19.1	・トイレ清掃は行き届いている	25.0	様々な課題をクリアしながら、考えていかなければならない
設・設	で	②施設・設備のより有効な活用を図るととも	○◇清掃活動に力を入れた。改善された点と	%	・点検の実施は充分であるが、破損箇所の修理に時間がかかり、未修理の状態の所が多い	%	・よくできていると思うが、さらに教育環境の充実をお願いし
備の活	協	に、机・椅子の整備等、教育環境の整備に	不十分な点の両面が見られた。		・体育祭・青藍祭で生徒に裁量と決定権が与えられれば主体的に進められるのではないか		たい
用	なが	努める	   ◇校舎施錠について色々な方策を行ったが	В	・清掃をどんなに頑張っても限界がある	В	・大変恵まれた環境の中、生徒一人ひとりの力をさらに大きく
	督	【平成 31 年度高 1 生徒分の机・椅子一新】	徹底しなかった。	51.5	・紙資源の節約をするべき(会議等はパソコンで行うなど)である	62.5	育てていただきたい
	環	③清掃状況を把握する巡視ではチェクシート	②○剣道部の床の修繕を実施した。 ◇机、椅	%	・受動喫煙対策法が施行されることを受けて、本校として方向性を早めにはっきりと教職員に示す必要が	%	・パソコンと紙ベースを適宜使い分け、もしくは両立すること
	境の	を活用し学年主任や清掃担当と協力して清	子、黒板等の劣化が見られる。継続的な更		あるのではないか		を考えてはどうか
	実現	掃指導の徹底を図る	新が必要である。	С	・体育館等の施設の老朽化が著しい。寮を新設する前に古い施設を修理してほしい	C	・災害・防災への意識・関心が薄くならないように定期的に訓
	巩	④破損箇所の把握と迅速な修繕を図る	③◇消灯、空調のスイッチオフ等の節電や紙の	26.5	・施錠における責任の所在が明確になっていない。日直を 19:30 までとし、特勤としての手当を出せば徹	12.5	練や学習会を引き続き行っていただきたい
		【6月・11月・2月の一斉点検実施】	節約などはまだ十分とは言えない。	%	底すると思う	%	・トイレは洋式の方がいいと思う。女子生徒がかわいそうだ
		⑤電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の	④○5 月に防災避難訓練、8 月に防災学習を実		・環境があまりよくない。トイレが汚い(古い)学校には人も来ないと思う		・喫煙については教員間で徹底してほしい。喫煙指定場所以外
		有効活用を心がける	施し、防災意識を高めた。	D	・視聴覚室は視聴覚の機能を果たしていない。機材をきちんと充実させるべきである	D	で教員が喫煙しているとしたら、もってのほかである。生徒
		⑥消灯、戸締まりの徹底を図る	○防災マニュアルを常時活用できるように生	2.9	・修繕に努めていただいているが、施設の老朽化が進んでいることは否めない	0	に校則をと言うのなら、教員も守るべき
		⑦地震発生時の避難や防災に関する訓練・学	徒手帳に添付にした。	%	・破損箇所について、やむを得ない事情もあると思うが、修繕まで時間がかかることがあった	%	・生徒の安全や授業に直結するような箇所の不具合は早急に
		習会を実施し、生徒の安全を確保する	⑤◇原子力災害に対する避難計画は未作成で		・同じ箇所の施錠忘れが繰り返された		修繕すべきではないか
		⑧原子力災害に対する避難計画を作成する	あった。(藤枝市の指針が未発表のため)		・トイレや教室の設備が古くなっている。様式トイレにしたりして、順に新しくしてほしい		・施錠については部室を含めて、もう少し各々が責任を持って
					・施錠、消灯などの設備に対する扱いにまだ課題有り		取り組んでほしい
					・グランドの時計や体育館の雨漏り等、生徒のための施設が充実しているか疑問である		・トイレは直すべきだと思う
					・水場、清掃用具の整理・整頓、清掃と改善され、定着してきたが、トイレは教員の指導力や意識に差が		・トイレの設備が古くなってきている。少しずつ修繕されると
					ある		いいと思う
					・汚さない、常に片付けるという意識を持つように指導していきたい		・トイレを洋式への改修計画を立てるべきだと考える。一般家
					・黒板の状やチョークの質が非常に悪い。授業に直結する部分なので改善していただきたい		庭においての洋式トレの普及率は 80%を越えており、公共
					・施設の点検・改善は達成できていると思うが、生徒への校舎を丁寧に扱う指導がまだ行きとどいていな		施設においても洋式を取り入れている。財政力が低い自治体
					ſ,		の公立小学校でも和式と洋式が併設されている。近隣の私立
					・現場の意識改革を促すに留まっているような気がする		高校が洋式トイレを売りにして生徒募集の強化を図ってお
					・机・椅子の入れ替えが進み、環境が整えられつつあるが、校舎設備の老朽化が目立つようになってきた		り、CSの視点からトイレ問題は無視できない。